

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大田市 (322059)
地域名 (地域内農業集落名)	出岡地域 (出岡)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	8.9 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	8.9 ha
② 田の面積	5.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.2 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.8 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・本地区は水田、畑地利用地が分散していたが、令和3年度に完了した農地整備事業による農地の集約化により畑地整備地は認定農業者が施設アスパラ、露地野菜の生産地として6割を集積され、水田は隣接の認定農業者が主に水稻生産を行っている。 ・未整備地等については、主たる利用者が水稻、畑作物を生産している。 ・整備農地は残石が多く、農業機械等に影響があることから、徐石を行う必要がある。 ・生産規模拡大を目指す施設アスパラについては、資材高騰などにより、計画が立てられな状況にある。 ・イノシシの対策は防護柵等で対応しているが、ハウス施設などにサル等の被害が出始めている。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<ul style="list-style-type: none"> ・整備農地は農業生産法人が耕作を継続し、農地利用を図る。 ・整備農地の自作農業者が耕作困難となった場合は、農地中間管理機構と連携して認定農業者による耕作の継続を図る。 ・整備農地以外の農地については、主たる自営農業者を中心に耕作の維持を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
<ul style="list-style-type: none"> ・整備地については、現状の生産体系を維持し、自作農業者が耕作困難となった場合は、農地中間管理機構と連携して認定農業者に耕作の継続を図る。 ・未整備地については、引き続き話し合いを進め、農地利用の継続を検討する。 			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	67.1	%	将来の目標とする集積率
			67.1 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・担い手が利用する農地面積の団地数は2団地。担い手の育成を図るとともに、団地の統合と集約化を進める。 			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・整備地については、農業生産法人が農地集積、集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・農地所有者は農地中間管理機構に貸し付けし、基本的に認定農業者が農地利用を図る。
(3)基盤整備事業への取組
・整備後の農地の残石対策を早期に行政機関と連携して、進める必要がある。 ・地域全体の対策を基本として、鳥獣被害防護柵の設置を検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・施設園芸の規模拡大を図るため、農林大学校や市の担い手センターと連携し、新規就農者の確保を進める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・耕作者や圃場の状況等を確認しつつ、必要に応じて労力軽減につながる作業や必要な機械を持たない作業を中心に活用の検討を進め、営農活動の維持に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシ柵やサルの電気柵の設置、管理に取り組む。誘因作物の排除に努める。
- ②水稲生産者においては、環境に配慮した農業生産に取り組む。
- ③施設アスパラの生産の省力化を図るため、ロボット技術の導入や環境制御のスマート農業化を図る。
- ⑦地域環境の保全については、多面的機能支払を活用して維持管理を図る。
- ⑧農地利用の更なる高度化を進めるため、ハウス施設の拡大整備を計画的に進める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	1	アスパラガス	3.15 ha	— ha	アスパラガス	3.15 ha	— ha	1	
認農	2	水稲	1.80 ha	— ha	水稲	1.80 ha	— ha	2	
利用者	3	水稲	1.14 ha	— ha	水稲	1.14 ha	— ha	3	
集	4	水稲・キャベツ	0.86 ha	— ha	水稲・キャベツ	0.86 ha	— ha	4	
利用者	5	水稲	0.45 ha	— ha	水稲	0.45 ha	— ha	5	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	5経営体		7.4 ha	0 ha		7.4 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業者名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--